

報道機関各位

「今月のイッピン」について

博物館では、新型コロナの収束が見通せない中にあっても、生涯学習が継続できるように、「小規模・分散」をキーワードとした活動を実施していきます。その一環として、近年新たに寄贈された新収蔵品を毎月一点ずつ展示する標記事業を実施します（※事業全体の詳細は別紙をご覧ください）。この展示は無料で鑑賞できますが、コロナ感染防止のため、なるべく少人数でのご来館をお願いいたします。なお、4月の展示は下記のとおりです。

展示期間

令和3年4月1日（木）～4月30日（金）

展示物

「春宵（夫婦桜）」（絵画） 百瀬太虚

松本出身の百瀬太虚が描いた「中曽根のエドヒガン」の絵です。幻想的な夜桜を描いたこの作品は、美術雑誌『一枚の絵』2019年3月号に掲載されました。

添付資料 有 無

じゃらんnet

「全国のおすすめ紅葉スポットランキング2020」でもみじ湖が**全国1位**に選ばれました！！

教育委員会 箕輪町郷土博物館
(館長) 小池 弘郷 (担当) 井澤 はずき
電話：0265-79-4860
FAX：0265-79-4860
E-mail：hakubutsukan@town.minowa.lg.jp

令和3年度 新収蔵資料紹介（今月のイッピン）コーナーについて

令和3年4月 箕輪町郷土博物館

箕輪町郷土博物館では、新型コロナの収束が見通せない中であっても、一人一人が自己実現のために、教養を高め、生涯にわたって学び続けられるよう、「小規模・分散」をキーワードとした活動を実施し、多くの皆様に今まで以上に文化に親しんでいただきたいと思います。

「新収蔵資料紹介コーナー」では、近年（令和元～3年）寄贈された新収蔵資料の中から、町の皆様に是非見ていただきたい資料を毎月一品ずつ玄関展示コーナーで紹介します。展示する資料は、郷土作家の絵画、箕輪町を描いた絵画、民具、模型等で、このコーナーの観覧は無料です。なお、詳細は以下の通りです。

1 利用案内

- 新収蔵資料紹介コーナーの利用時間は博物館の開館時間と同じ（午前9時～午後5時まで）です。
- 新収蔵資料紹介コーナーのみ利用の場合は入館料は不要です。受付でお申し出ください。
- 観覧者が一定人数を超えた場合はご利用できないことがあります。また、なるべく5人以下の少人数でご来館ください。
- ご利用される方は、コロナ感染防止対策（マスクの着用・手指の消毒・検温・連絡先の記入等）にご協力ください。

2 新収蔵資料紹介コーナーの内容

展示月	作品名	作者	寄贈日
4月	春宵（夫婦桜）	百瀬太虚	R1.10.2
5月	富士虹図	登内景洸	R3.1.7
6月	ED19-1 模型	ムサシノモデル	R2.10.28
7月	大樹	柴宮忠徳	R2.10.20
8月	螺鈿芝居弁当		R1.6.21
9月	手長足長	山本龍洞	R2.3.6
10月	大下宇陀児作品	大下宇陀児	
11月	大正池	山口 進	R2.3.6
12月	切手アルバム第26巻		R2.3.6
1月	高砂	山本龍洞	R3.1.7
2月	宇治川の戦図	登内景洸	R3.1.7
3月	かやの高原	向山僚一	R2.3.6

※詳細については、その都度プレス発表等していきますので、よろしくお願いたします。なお、都合により展示資料を変更する場合があります。